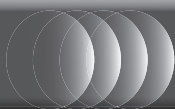


アドバイス



資格取得にチャレンジ!!

環境食品応用化学科では、化学ならびに生物学を基盤とし、環境・食品・化学・バイオテクノロジーに関する教育と研究を行っています。本学科は、化学・生物学の基礎から学び、最先端の研究を通して、材料開発や環境・エネルギー問題にアプローチできる技術者・研究者や、食品安全やバイオテクノロジーの基礎技術を修得したエキスパートの養成を目指しています。

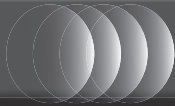
そのため、学生のみなさんは専門を活かせる就職先として、化学系の製造業や食品系の企業を選ばれる方が多くいます。化学系の製造業では、様々な化学物質を取り扱う必要があるためにその業務を行う上で、危険物取扱者や劇物取扱責任者などの資格が求められ、また食品系企業では食品衛生管理者や食品衛生責任者など、食品系特有の資格が求められる場合があります。

そこでこの冊子では、学生のみなさんに関係する資格の中から、**就職活動や就職後にも役立つ資格**を“環境食品応用化学科の奨励する資格”として選び、授業などでどのように支援しているかを一覧表にまとめました。

ここに挙げた資格には、卒業後申請すれば取得できるものや在学中に受験して取れるもの、卒業後受験資格が得られるものがありますが、ほとんどの資格に受験資格に関する制限がありません。そのため、時間的に比較的余裕のある学生時代に、ぜひ**資格取得にチャレンジ**してください。

なお、資格とは**特定の職業に就業する場合や専門能力を認定**するもので、その認定機関は国、自治体、民間法人、国際団体と様々です。特に、専門的な知識や技術を要求される職種に就職を希望される場合には、有資格者であると就職が有利に働く場合があります。しかし、業務に必要とされる資格ほど難易度が高くなる傾向がありますので、安易に資格取得を目指すのではなく、**就職も踏まえた将来設計をもとに計画的な資格取得**を目指してください。

資格について詳しく知りたい場合は、表中の学内問合せ先の先生に尋ねるか、図書館の資格コーナーに参考書があるので見てください。表に記載していない資格はもちろん、各資格の受験資格、試験科目などがわかり、勉強の仕方なども参考になります。実務経験が必要となる資格は、在学中に取得することはできませんが、**在学中の努力が取得の基盤**となります。そのため、学業に対する日頃からの努力と研鑽が大切になります。こうした努力は、その人の一生に必ずプラスに作用しますし、就職活動や就職後にも役立つと思います。

おすすめ
受験資格

在学中に受験可能な資格試験

食品衛生管理者

食品衛生責任者

食品安全検定

食品表示検定

環境計量士

公害防止管理者

危険物取扱者

環境測定分析士

バイオ技術者

毒物劇物取扱責任者

特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者